

## MAMENBARA HIGHLANDS

麻綿原高原は、清澄山系、清澄寺の北3.5キロ、標高340メートルにある関東随一のアジサイの名所として知られています。

アジサイ群は、麻綿原高原にある天拝園と名付けられた妙法生寺境内が中心で、昭和26年（1951年）箕輪日受師が廃寺を再興しアジサイを植えたことに始まります。現在、住職が丹精込めて育てたアジサイが2万株の大群落になっています。

アジサイの開花は気温差から平地より大分遅く、7月上旬から下旬が見頃です。品種は和種のため白から青へ変化するのですが、その素朴な色合いが高原全体に広がる景観は美しくそして壮麗です。

またこの地は、建長5年（1253年）日蓮上人が初めて「南無妙法蓮華経」という題目を唱えたところとしても知られています。現在は、環境庁選定の「日本の残したい音風景100選」の地で、響き渡るヒメハルゼミの鳴き声も聞かれます。毎年7月第3日曜日には、そば供養があり観光客にも無料で振る舞われます。

# 麻綿原高原

関東随一のアジサイの名所



大多喜町シンボルキャラクター  
**おたつきー**